

The Japan Awards for Biodiversity 2015

第4回 生物多様性 日本アワード

募集のお知らせ

主催：公益財団法人イオン環境財団

後援：環境省 国連生物多様性の10年日本委員会
株式会社共同通信社 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社

募集期間 **2015年3月2日(月)～5月29日(金)**

生物多様性 日本アワードとは？

生物多様性の保全と持続可能な利用、普及・啓発に大きく貢献している「プロジェクト」を表彰する賞です。2009年に創設され、隔年で実施されています。

詳細は ▶▶ 生物多様性オンラインマガジン「[The MIDORI Press](#)」

顕彰内容は？

グランプリ受賞者(1件)

優秀賞(4件)

- 表彰状
- 副賞 200万円

- 表彰状
- 副賞 100万円

応募資格は？

日本国内に在住する ①NPO法人・公益法人 ②個人 ③企業
④学校法人・研究機関 ⑤任意団体(複数の団体・組織による共同のプロジェクトチーム等)に応募資格があります。

応募方法は？

生物多様性オンラインマガジン「[The MIDORI Press](#)」から、応募してください。<http://www.midoripress-aeon.net/jp/>
なお、応募には対象分野の有識者からの推薦状が必要となります。

審査委員会

〈審査委員長〉

岡田 卓也 公益財団法人イオン環境財団 理事長

〈委員〉

赤池 学 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長

岩槻 邦男 東京大学 名誉教授

黒田 大三郎 公益財団法人地球環境戦略研究機関
シニアフェロー

香坂 玲 金沢大学 地域創造学類 准教授

竹田 純一 東京農業大学 農山村支援センター
事務局長

あんまくどなど 上智大学大学院 地球環境学研究所 教授



The Japan Awards for Biodiversity

生物多様性 日本アワード 歴代受賞プロジェクト

生物多様性 日本アワードは、生物多様性の保全と持続可能な利用に貢献するプロジェクトを応援しています。



地域企業との協働による谷津田の保全

NPO法人アサザ基金／白菊酒造株式会社／株式会社田中酒造店

優秀賞

- ◆ 知床の生物多様性に関する取り組み：財団法人知床財団
- ◆ 「農」に着目した地域における生物多様性の保全のための活動：NPO法人 農と自然の研究所
- ◆ エコロジカルネットワークの研究と実践：鹿島建設株式会社
- ◆ 「コウノトリ育む農法」とコウノトリ共生米：コウノトリ育むお米生産部会／JAたじま／NPO法人コウノトリ湿地ネット／豊岡市／兵庫県豊岡農業改良普及センター
- ◆ 生物多様性保全を含む10の調達指針：積水ハウス株式会社
- ◆ 「生物多様性について考えてみませんか」定期的な取り組み：中日信用金庫
- ◆ 「ボルネオはあなたが守る!」キャンペーン：サラヤ株式会社



湿地環境の指標種としての雁類の保護およびその生息環境の保全・復元と人間との共生をめざす活動

日本雁を保護する会

優秀賞

- ◆ 茅場の保全から茅葺屋根まで「ヨシ原と共に生きる」：有限会社 熊谷産業
- ◆ クマ保護管理事業：NPO法人ピッキオ
- ◆ 山梨県小菅村における多摩川源流大学を中心とした源流域の自然保全活動と教育活動：NPO法人多摩源流こすげ
- ◆ 野田自然共生ファーム：株式会社 野田自然共生ファーム



津波に被災した田んぼの生態系復元力による復興

特定非営利活動法人 田んぼ

宮城県気仙沼を始め、塩竈、南三陸、岩手県陸前高田を中心に生態系の復元力を活用した自然農法のシステム(ふゆみずたんぼ)で津波被災地の田んぼの復興を実現。1200名を超える多様なボランティアを被災地に導入し、手作業で田んぼの復興を試み、抑塩にも成功。被災した年の秋から豊かな収穫を楽しむことができました。

優秀賞

- ◆ 太平洋沿岸カツオ標識放流共同調査と一連の協働・普及啓発活動：味の素株式会社
- ◆ 「竹紙(たけがみ)」の取り組み：中越パルプ工業株式会社
- ◆ 綾の照葉樹林プロジェクト：てるはの森の会
- ◆ ネイチャー・テクノロジー創出のシステム構築：ネイチャー・テクノロジー研究会(東北大学大学院 環境科学研究科)

第3回 生物多様性 日本アワード 授賞式

2013年10月29日、「第3回 生物多様性 日本アワード」の授賞式が国連大学 ウ・タント国際会議場(東京都渋谷区)において執り行われました。授賞式に引き続き、受賞された5プロジェクトの活動について、プレゼンテーションを実施していただきました。

